



まんだらげ

Vol.41

2017 SUMMER

広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

Photo: 熊野徐福万燈祭・新宮花火大会(新宮市)8月13日開催



Contents

特集 / 対象を広げるロボット支援手術

TOPICS / 遠隔外来のお知らせ

専門分野で活躍する「リソースナース」

準無菌病室エリア改修

リレーフォーライフ 2017わかやま

教授就任挨拶 / 神経精神科 教授 鷓飼 聡

食事と健康 Q&A / 減塩について

理念

私達は安全で質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

基本方針

- 1 患者さんとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。
- 2 高度で先進的な医療の研究をすすめその成果を反映した医療を行います。
- 3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。
- 4 和歌山県の基幹病院として、地域の保健医療に貢献します。

対象を広げる ロボット支援手術

ロボット支援手術とは



サージョンコンソール



ペイシェントカート



ビジョンカート

「ダヴィンチ」という手術支援ロボットを使用して行う手術のことです。当院では、平成24年12月から導入しています。

体に空けた小さな穴に「鉗子」(手術器具)を挿入し、専門のトレーニングを受けた医師がハイビジョンカメラの映

像を見ながら4本の腕を持ったロボットを遠隔操作して手術を行います。

ダヴィンチは術者の頭脳となるサージョンコンソール、手となるペイシェントカート、目となるビジョンカートの3つの機器で構成されています。

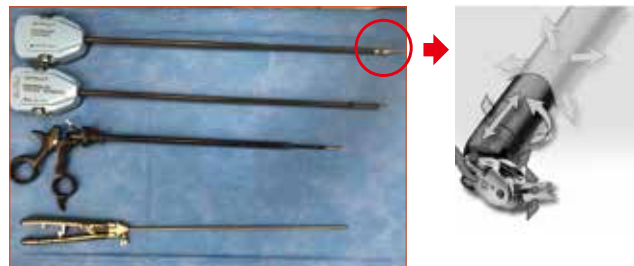
ロボット支援手術のメリット

拡大された3D画像



10～12倍の高解像度の3D画像を見ながらより正確な手術をすることができます。

なめらかに動く鉗子



従来の腹腔鏡の鉗子に比べ、なめらかに動くので、人間の手以上の操作が可能です。

当院で行っているロボット支援手術(泌尿器科)

前立腺

平成24年12月からロボットによる手術を行っています。それまでは開腹手術、腹腔鏡で行っていた手術が現在では、ほぼすべてがロボットにより行われています。今年1月末時点で346例施行しました。開腹手術、腹腔鏡手術に比べて合併症が少なく、また、開始当初に比べて根治性、尿禁制(尿失禁のない状態)、性功能維持の点が改善されています。

手術金額	1,185,503円 (保険適用。通常の健康保険の場合、3割負担で355,651円)
入院日数	14日

腎臓

近年、CT、エコーの普及に伴い、小さい腎がんの発見頻度が増加しています。腎機能を保護するためにはがん部分のみを切除する手術が望ましいのですが、高度な技術を必要とします。

また、保険を適応し、ロボットによる手術を行うためには一定の基準がありますが、当院はその要件を満たしており、平成28年5月からこれまでに32例施行しました。

手術金額	1,189,070円 (保険適用。通常の健康保険の場合、3割負担で356,721円)
入院日数	13日

膀胱

前立腺、腎臓と異なり、保険適用とはなっていません。膀胱を全摘除するとともに、尿路変向(腎臓で作られた尿は膀胱に蓄えられたあと、尿道から体外へ排出されますが、これを別ルートに変える手術のこと。)も同時に行う必要があることから、多くが開腹手術で施行されています。

当院では、これまでロボットにより2例施行しました。今後、8例を校費負担によって行う予定です。

費用	詳細については患者相談窓口までお問い合わせください。
入院日数	28日



ロボット支援手術を行う医師 前立腺・腎臓・膀胱

教授	原 勲
准教授	柑本 康夫
講師	射場 昭典
	他 2 名

※入院日数は標準的な日数です。
 ※前立腺、腎臓については健康保険が適用され
 ます。
 加入されています健康保険により自己負担
 額が異なります。また、高額療養費制度の適
 用を受けることができます。
 ※ここに記載している金額に加え、各種費用が
 必要となることがあります。
 ※詳しくは患者相談窓口までお問い合わせく
 ださい。

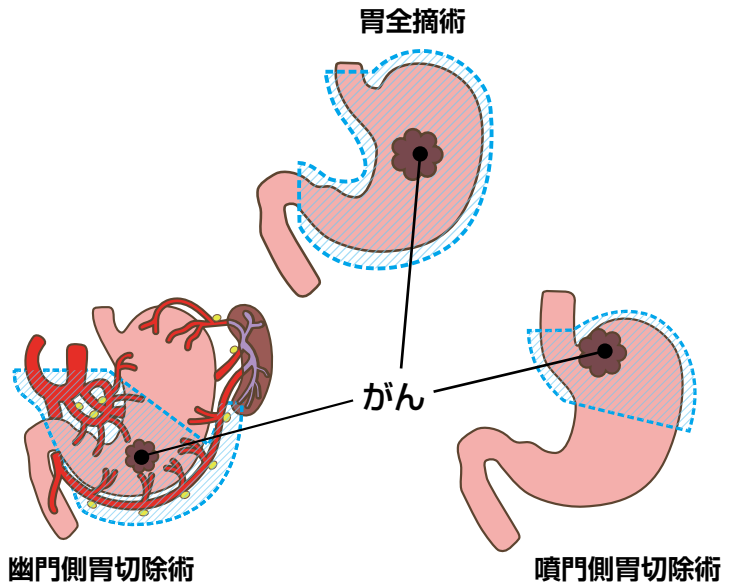
当院で行っているロボット支援手術(消化器・内分泌・小児外科)

胃

平成 29 年 5 月からロボット支援下胃癌手術を開始しました。適応は根治切除可能な胃癌(ステージ I~II)です。胃癌の切除術式「幽門側胃切除」、「胃全摘」、「噴門側胃切除」いずれにも対応することができます。

ロボットを用いて手術を行うため、これまでの開腹手術、腹腔鏡手術に比べ、緻密な手術が可能で、合併症のリスクを低くし、安全・正確で体への負担が少ない手術が期待できます。国内では、最近大規模な臨床試験が終了しました。近い将来保険収載される可能性があります。

当院では、平成 29 年 6 月末の時点で 4 例施行しました。今後、20 例を校費で行う予定です。



費用	詳細については患者相談窓口までお問い合わせください。
入院日数	10~14日



直腸

平成 27 年 1 月より開始しています。骨盤内の狭いところにある直腸やそのまわりのリンパ節を切除します。解像度の高い 3 次元の画像により切除するところをより詳細に観察ことができ、また、手術の手となる鉗子があらゆる方向に動くことで、あらゆる角度から剥離や縫合が可能です。男性の場合は前立腺との境界、女性の場合は膈壁との境界、また、骨盤内の側方リンパ節の切除に有効と考えられています。

当院ではこれまで 10 例の手術をすでに施行しています。保険適用ではないため、当院では現在自己負担により施行しています。

自己負担合計金額	1,830,570円 (税抜。保険適用外)
入院日数	10~14日

ロボット支援手術を行う医師

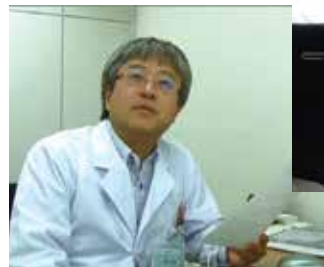
胃	准教授	中森 幹人
	講師	中村 公紀
	講師	尾島 敏康
	学内助教	早田 啓治
直腸	准教授	横山 省三
	講師	松田 健司

遠隔外来のお知らせ

遠隔医療支援システム(テレビ会議システム)を利用し、お近くの遠隔医療支援システム設置医療機関で当院の専門医によるアドバイスを受けることができます。

遠隔外来のメリット

- ・通院に要する時間や経済的負担等を軽減できます。
- ・お近くの医療機関の医師に加え、当院の医師がアドバイスすることにより、複数の医師の診断が反映されます。



対象疾患

専門外来名	担当医師
糖尿病・内分泌	古田 浩人 有安 宏之
炎症性腸疾患	加藤 順
肝臓	玉井 秀幸
消化管内視鏡治療	井口 幹崇
心不全相談	赤阪 隆史 穂積 健之 久保 隆史
冠動脈疾患治療相談	
成人先天性疾患相談	
弁膜症治療相談	
不整脈治療相談	黒井 章央
血液疾患・HIV	園木 孝志
慢性頭痛	村田 顕也
認知症	廣西 昌也
膠原病(関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎/皮膚筋炎、混合性結合組織病、血管炎症候群等)	湯川 尚一郎
小児科	小児科医全員
胎児心臓エコー外来	熊谷 健 垣本 信幸
てんかん	辻 富基美
皮膚一般	金澤 伸雄
乳腺	尾浦 正二
心臓血管外科	西村 好晴
呼吸器外科	吉増 達也
食道外科	中森 幹人
脳神経疾患	(輪番)
手・足疾患	下江 隆司
脊椎疾患	橋爪 洋
義肢装具	西山 一成
慢性疼痛・がん疼痛	栗山 俊之
前立腺癌	原 勲
尿路結石	柑本 康夫

遠隔医療支援システム設置医療機関

医療機関(担当部署)	TEL
橋本市民病院(代表)	0736-37-1200
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院(事務室)	0736-22-8364
高野山総合診療所(事務所)	0736-56-2911
公立那賀病院(医事課)	0736-77-2019
海南医療センター(事務局)	073-482-4521
国保野上厚生総合病院(事務所)	073-489-2178
有田市立病院(医務課)	0737-82-2151
独立行政法人国立病院機構和歌山病院(事務部)	0738-22-3256
国保日高総合病院(庶務課)	0738-22-1111
独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター(事務部)	0739-26-7050
国保すさみ病院(事務所)	0739-55-2065
那智勝浦町立温泉病院(地域連携室)	0735-52-1055
新宮市立医療センター(地域医療連携室)	0735-31-3333

問い合わせ先

地域医療支援センター

受付時間 月～金曜日 8時45分～17時30分

電話番号 073-441-0845(直通)

F A X 073-441-0846

E-mail enkaku@cmssc.jp

熟練した技術と知識を持ち専門分野で活躍する「リソースナース」

リソースナースとは、変化する医療現場の最前線で働く看護師たちを専門知識や技能で支援する看護師です。専門分野の知識・技術を活用し、看護職員や他の医療従事者への啓蒙活動を行うとともに、必要時患者に直接ケアを提供することを通して看護ケアの質保証に貢献しています。



当院では、特定の専門分野において卓越した看護実践能力をもつ専門看護師2人と、熟練した技術と知識をもつ認定看護師20人が中心となり、リソースナースとして、活躍しています。

分野	人数
がん看護専門看護師	1名
慢性疾患看護専門看護師	1名
救急看護認定看護師	3名
皮膚・排泄ケア認定看護師	2名
集中ケア認定看護師	3名
緩和ケア認定看護師	1名
がん化学療法看護認定看護師	1名
がん性疼痛看護認定看護師	1名
感染管理認定看護師	3名
糖尿病看護認定看護師	1名
新生児集中ケア認定看護師	2名
手術看護認定看護師	1名
小児救急看護認定看護師	1名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	1名

準無菌病室エリア改修のお知らせ

血液内科病棟の準無菌病室エリアの改修工事が4月末に完了しました。

病室内全体がISOクラス6(清浄度クラス1000)を満たし、「無菌治療室管理加算1」の施設基準に対応した無菌病室として、11部屋をリニューアルしました。

より良い設備環境の下、患者さんに医療を提供できるよう、今後も院内の設備環境整備を進めてまいります。

リニューアル後の病室
(ベッド上(天井)に清浄化された空気の吹出口を設置)



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017わかやま

リレー・フォー・ライフは、がん患者やそのご家族を支援し、地域全体でがん向き合い、がん征圧を目指すチャリティ活動で、「がんは24時間眠らない」「がん患者は24時間闘っている」という考えから24時間夜通しで開催されます。

1985年、アメリカで始まり、現在では世界各地で開催されています。和歌山では5月13日12時から14日13時の間、和歌山城和歌山公園砂の丸広場で開催されました。当院からはがん相談支援センタースタッフが相談ブースを出展するとともに、

看護職員、社会福祉士、事務職員などがリレーウォークへ参加しました。



教授就任挨拶

地域の医療機関と連携した専門性の高い精神科医療の提供を目指します

平成29年5月1日付で当講座の教授を拝命いたしました。大阪大学から本学に赴任して11年余りになりますが、引き続きよろしくお願いたします。



神経精神科 教授
鵜飼 聡

近年、和歌山市とその周辺において精神科診療所が増加したことにより、当院では、一般的な外来診療で対応可能な病状の患者さんの診療のニーズは減少傾向にあります。また、当院は特定機能病院であることから、当科においてもかかりつけ医との役割の分担や、患者さんの病状に応じた連携を進めるとともに、医大でなければできない専門性の高い医療の提供に努めていきたいと考えています。

経 歴

昭和58年 大阪大学医学部医学科卒業
昭和58年 大阪大学医学部精神医学教室入局
昭和59年 大阪警察病院神経科医員
平成3年 国立療養所松籟荘精神科医師
平成6年 国立大阪病院神経科医師
平成12年 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室助手
平成17年 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室講師
平成18年 和歌山県立医科大学神経精神医学講座講師
平成19年 和歌山県立医科大学神経精神医学講座准教授
平成29年 和歌山県立医科大学神経精神医学講座教授

当科の診療内容

対象疾患

精神疾患全般を診療対象としています。主なものは、統合失調症、気分障害(うつ病、躁うつ病など)、神経症性障害(パニック障害など)、心身症、認知症を含む老年期の精神障害、脳器質性・症状性精神障害、てんかんなどです。

対象となる病状について

専門性の高い、高度の医療が必要と考えられる場合、例えば、一般の医療機関では診断や治療が困難な場合、身体的な合併症をお持ちで総合的な診療が望ましい場合などに、当科での診療をお考えください。その場合、原則としてかかりつけ医に先ずご相談をお願いいたします。

専門外来・専門的な診療について

当科では、てんかん外来、認知症疾患医療センター、うつ病の復職支援プログラム、緩和ケア医療チームへの参加、他科との密接な連携(コンサルテーション・リエゾン)、電気けいれん療法、クロザリル療法(難治性統合失調症を対象)、反復経頭蓋磁気刺激治療(現在休止中、再開予定)、などの専門的な診療を実践しています。

食事と健康Q&A ~減塩について~

Q1. 医師に1日の塩分を6g以下にするように言われました。

A. 和歌山県民の平均塩分摂取量は、1日に男性10.2g、女性9.1g(平成24年国民健康・栄養調査より)となっています。1日6g以下にするために味の濃い調味料の使用を現在の2/3程度に控えること、味噌汁や麺類のスープは半分程度残すこと、和歌山県民が好む梅干、漬物、干物、味噌等の摂取を少し控えるなどの習慣をつけましょう。

Q2. 減塩醤油ってどんなものですか?

A. 通常の醤油に比べ塩分が50%以下(大さじ1杯中に塩分が1.6g以下)のものを言います。また、通常の醤油に比べ20%以上低減しているものは、「低塩」「塩

分ひかえめ」等と表示されています。塩分が少ない分、味が薄く感じることがありますが、商品によっては昆布やかつお節等の旨味で風味を補っているものもあり、美味しく食べられるよう工夫されています。但し、使いすぎには注意が必要です。



栄養指導はフードモデルやパンフレットを使用し、わかりやすくお話できるよう心がけています。栄養指導は主治医の指示のもと行っていますので、ご希望の患者さんは主治医にご相談ください。



予約センターからのお知らせ ～診察予約のご案内(初めて受診される方)～

当院の外来受診は、原則として「**予約制**」とさせていただいております。
ご予約は、できるだけかかりつけの医療機関などからFAXでお申し込みください。

■医療機関からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などから当院所定の「予約申込書」**にて患者支援センターにFAX送信してください。
- ② 20分以内を目途に予約をお取りし、予約日時・医師名を記載した予約票を発信元の医療機関にFAX返信いたします。
- ③ 予約当日は、**予約票・紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

患者支援
センター

FAX番号: 073-441-0805
受付時間: 月・火・水・金 9:00～19:00
木 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■ご本人からのご予約

- ① **かかりつけの医療機関などで紹介状**をご用意ください。
※特定の医師による診療をご希望の場合は必ず「〇〇科 〇〇医師」と明記した紹介状をご用意ください。
- ② 「**当院予約センター**」に直接お電話ください。
- ③ 予約当日は、**紹介状・保険証・診察券(受診歴のある方)**をご持参のうえ、**外来受付**に直接お越しください。

電話予約
センター

電話番号: 073-441-0489
受付時間: 月～金 8:30～16:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

※電話だけでなく9:30～17:00まで院内の予約窓口も開設しています。

看護師・助産師募集中

※募集等詳細につきましては当大学ホームページをご覧ください。
または下記までお問い合わせください。

和歌山県立医科大学附属病院では看護師・助産師を募集しています。

TEL 073-441-0711 (事務局総務課)
<http://www.wakayama-med.ac.jp>
公立大学法人和歌山県立医科大学 和歌山市紀三井寺811-1

病院ボランティア募集

みなさまの温かいお力をお待ちしております。

外来または病棟で、患者さんが安心して治療を受けることができるようボランティアの方を募集しています。

活動時間

外来①: 8時50分～11時30分
外来②: 11時50分～14時50分
病棟: 病棟と調整の上決定します。
(活動時間はいずれも調整可能です。)

※対象: 平日に活動して下さる18歳以上の方
詳細はお問い合わせください。

問い合わせ先

和歌山県立医科大学附属病院
代表: 073-447-2300
医事課 ボランティア担当

患者さんの権利

当院では、受診される皆様が、以下の権利を有することを確認し、尊重します。

- 1 個人として尊重され、平等に良質な医療を受ける権利があります。
- 2 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 3 十分な情報を得た上で、自己の意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否する権利があります。
- 4 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーを保護される権利があります。

※当院では、患者さんの安全を守ることを第一に診療を行っておりますが、他の患者さんや職員への暴力・暴言・大声・威嚇などの迷惑行為があった場合は診察をお断りすることや退去を求めることがあります。著しい場合は警察に通報いたしますのでご了承ください。

患者さんへのお願い

当院では、さまざま医療を提供しておりますので、次のことを十分ご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- 1 適切な医療を実現するために、患者さんご自身の健康に関する情報をできる限り正確にお話してください。
- 2 医療に関する説明を受けられて理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 3 治療上必要なルールはお守りください。また治療を受けていて不安を感じましたらすぐにお知らせください。
- 4 すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするため、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
- 5 当院は教育・研究機関でもありますので、医学生・看護学生などが実習や研修を行っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。